

実績報告書

大阪府知事様

平成 30 年 8 月 日

届出者住所 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

氏名 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
代表取締役社長 庄司 哲也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

大阪府温暖化の防止等に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

特定事業者の主たる業種	37通信業	
該当する特定事業者の要件	レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要	大阪府内は6ビルで運営しており、主に下記のサービスを提供している。 1. 電話サービス 2. 総合デジタル通信サービス 3. 専用線サービス 4. 加入電話 5. 回線交換 6. パケット交換 7. フレムリレー・セルリレー 8. ビデオテックス 9. OCN 10. Fネット 等	
事業所の名称及び所在地	別紙のとおり	
温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策の実施状況	別紙のとおり	
温室効果ガスの排出の抑制に関する目標の達成状況	別紙のとおり	

連絡先	部署名	総務部 CSR・環境保護推進室			
	電話番号	03-6700-4225			
	電子メールアドレス	earth-protection-te@ntt.com			
※整理番号		※受理年月日	年	月	日

備考1 氏名（法人にあつては、代表者の氏名）の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

2 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

3 ※印のある欄は、記入しないでください。

1 事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	備考
1	NTTコム大阪堂島第一ビル	大阪市北区	
2	NTTコム大阪淡路ビル	大阪市東淀川区	
3	NTTコム大阪浪速ビル	大阪市浪速区	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

以上、主な事業所（燃料並びに熱及び電気を合算したエネルギー使用量が、原油換算燃料等使用量で1,500キログラム/年以上の事業

11	NTTコム大阪関目ビル	大阪市城東区	
12	NTTコム大阪今宮ビル	大阪市西成区	
13	NTTコム大阪中之島ビル	大阪市北区	
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			

2 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標の達成状況

(1) 計画期間

平成	27	年	4	月	1	日	～	平成	30	年	3	月	31	日	(3年間)
----	----	---	---	---	---	---	---	----	----	---	---	---	----	---	-------

(2) 前年度におけるエネルギー総使用量及び温室効果ガス総排出量

区分	基準年度	平成(26)年度	前年度	平成(29)年度
エネルギー総使用量		674,586 G J		586,417 G J
原油換算量		17,403 k L		15,128 k L
事業活動に伴う温室効果ガス排出量		29,529 t-CO ₂		32,725 t-CO ₂
経済的手法を活用した温室効果ガスの排出抑制対策による排出削減量	グリーン電力(熱)証書			
	オフセット・クレジット			
	国内クレジット			
	合計	0 t-CO ₂		0 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量		29,529 t-CO ₂		32,725 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)		32,608 t-CO ₂		36,151 t-CO ₂

その他の抑制対策	
内容()	万 t-CO ₂
府域の自社所有地以外の植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量	t-CO ₂

備考 事業活動に伴う温室効果ガス排出量の内訳は、「4 前年度のエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量」をもとに作成すること。

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分	削減目標		第1年度	第2年度	第3年度
	29年度	(27年度)	(28年度)	(29年度)	
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3%	0.7%	-14.7%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		-%	0.8%	-14.6%	-10.9%
吸収量による削減率		%	%	%	%

備考 吸収量による削減率は、目標削減率において選択した排出量ベースまたは原単位ベースにより算出すること。

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

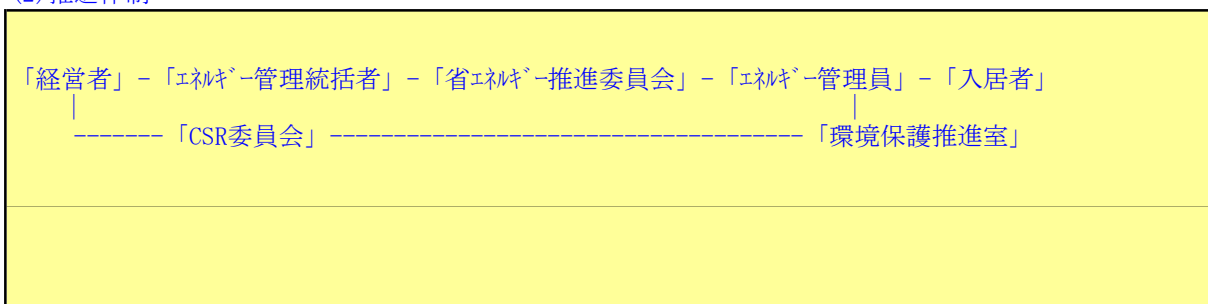
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()	
基準年度	(単位:)
前年度	(単位:)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

3 事業活動に係る温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(毎年度の実施状況を必ず記入してください。)

H29年度は基準年度(H26年度)に比べ温室効果ガス総排出量ベースで10.9%増となりました。事務室照明のLED照明への更改など設備に対する対策に加え、空調機室外機洗浄などの運用面での対策も確実に実行してきましたが、設備更改工事による影響で例年通りの運用が出来なかったものと思われます。今後も引き続き各種対策を確実に実行し排出量削減に努めていきます。

(2) 推進体制



(2)温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

①産業・業務分野

No.	温室効果ガス(GHG)の排出及び人工排熱等の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール(年度)	対策項目(入力欄)
	GHG排出	人工排熱					
1	レ	GHG排出	・堂島第一ビル ・中之島ビル	コード(1218) 高効率照明設備の導入	省エネ効果の高いLED照明設備に更新する ・堂島第一ビル ・中之島ビル (年間130t-CO2)	27年度	1218 ク. 照明設備 高効率照明設備の導入
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
2	レ	GHG排出	・堂島第一ビル ・淡路ビル ・浪速ビル	コード(1114) 空調室外機の洗浄	空調装置の室外機洗浄を実施(年2回) ・堂島第一ビル:129装置 ・淡路ビル:93装置 ・浪速ビル:58装置 (年間292t-CO2)	27年度	1114 エ. 保守及び点検 空調室外機の洗浄
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
3	レ	GHG排出	・中之島ビル ・今宮ビル ・関目ビル	コード(1114) 空調室外機の洗浄	空調装置の室外機洗浄を実施(年2回) ・中之島ビル:15装置 ・今宮ビル:4装置 ・関目ビル:27装置 (年間50t-CO2)	27年度	1114 エ. 保守及び点検 空調室外機の洗浄
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
4	レ	GHG排出	・堂島第一ビル	コード(1113) エレベータの一部休止	エレベータの一部休止を行う ・中之島ビル・浪速ビル (年間2t-CO2)	27年度	1113 ウ. 運転管理 エレベータの一部休止
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
5	レ	GHG排出	・全ビル	コード(1113) 空調温度の省エネ設定	冷暖房の省エネ温度設定の実施(夏季28℃、冬期20℃)	27年度	1113 ウ. 運転管理 空調温度の省エネ設定
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
6	レ	GHG排出	・全ビル	コード(1113) 照明点灯箇所の削減	オフィス部分の照明点灯箇所の削減	27年度	1113 ウ. 運転管理 照明点灯箇所の削減
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
7	レ	GHG排出	・全ビル	コード(1113) OA機器の省エネ設定	OA機器の省エネモード設定及び、退出時の電源OFF	27年度	1113 ウ. 運転管理 OA機器の省エネ設定
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
8	レ	GHG排出	・全ビル	コード(1199) エレベータの使用削減	「4up」「5down」運動によるエレベータの使用削減を実施	27年度	1199 上記以外の運用による対策 エレベータの使用削減
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
9	レ	GHG排出	・全ビル	コード(1215) 設備更改による省エネ化	老朽化した設備を更改し、省エネ・高効率化による温室効果ガスの排出削減を実施	27年度	1215 オ. 電気使用設備 設備更改による省エネ化
	レ	人工排熱				～	
	レ	平準化				29年度	
10		GHG排出		コード()		年度	
		人工排熱				～	
		平準化				年度	
11		GHG排出		コード()		年度	
		人工排熱				～	
		平準化				年度	
12		GHG排出		コード()		年度	
		人工排熱				～	
		平準化				年度	

4 前年度のエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量

(1) 主な事業所分

①事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地
1	NTTコム大阪堂島第一ビル	大阪市北区

②前年度におけるエネルギー使用量

エネルギーの種類	単位	(29)年度					
		エネルギー使用量(A)		販売エネルギー量(B)		(A)-(B)	
		数値	熱量 (GJ)	数値	熱量 (GJ)	数値	熱量 (GJ)
原油 (コンデンサートを除く)	k L		0		0		0
コンデンサート	k L		0		0		0
ガソリン	k L		0		0		0
灯油	k L		0		0		0
軽油	k L	10	377		0		377
A重油	k L		0		0		0
LPG	t		0		0		0
LNG	t		0		0		0
都市ガス	千m ³	55	2,475		0		2,475
産業用蒸気	GJ		0		0		0
蒸気 (産業用蒸気以外)	GJ		0		0		0
温水	GJ		0		0		0
冷水	GJ		0		0		0
その他 (**)	-		0		0		0
その他 (**)	-		0		0		0
その他 (**)	-		0		0		0
その他 (**)	-		0		0		0
その他 (**)	-		0		0		0
その他 ()	-		0		0		0
その他 ()	-		0		0		0
小計 (GJ)			2,852		0		2,852
電気事業者	昼間買電	千kWh	14,722	146,778		0	146,778
	(平準化時間買電)	千kWh	8,612	85,862		0	85,862
	夜間買電	千kWh	9,854	91,445		0	91,445
その他	上記以外	**		0		0	0
	買電	**		0		0	0
	**	千kWh		0		0	0
	**	千kWh		0		0	0
自家発電	千kWh		—		0	0	
小計 (GJ)			238,223		0	238,223	
合計 (GJ)			241,075		0	241,075	
原油換算 (k L)			6,219		0	6,219	

③前年度における温室効果ガス排出量

区分	(29)年度
エネルギーの使用によって発生する二酸化炭素の排出量	13,674 t-CO ₂
その他 () の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
合計	13,674 t-CO ₂

単位発熱量、CO₂排出係数は対策指針で示した値が入力されています。独自の根拠により数値を変更するときは、直接数値を変更入力してください。なおその場合、変更欄に「レ」が入りますので、その値を採用した根拠を

変更	単位発熱量	変更	CO ₂ 排出係数	CO ₂ 排出量
	38.2		0.0686	0.00
	35.3		0.0675	0.00
	34.6		0.0671	0.00
	36.7		0.0678	0.00
	37.7		0.0686	25.86
	39.1		0.0693	0.00
	50.8		0.059	0.00
	54.6		0.0495	0.00
	45		0.0509	125.98
	1.02		0.06	0.00
	1.36		0.057	0.00
	1.36		0.057	0.00
	1.36		0.057	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	9.97		0.550	8092.24
	9.97		0.549	1418.61
	9.28		0.551	5429.43
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	9.76		0	0.00
				13673.5

4 前年度のエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量

(1) 主な事業所分

①事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地
2	NTTコム大阪淡路ビル	大阪市東淀川区

②前年度におけるエネルギー使用量

エネルギーの種類	単位	(29)年度				
		エネルギー使用量(A)		販売エネルギー量(B)		(A)-(B)
		数値	熱量(GJ)	数値	熱量(GJ)	熱量(GJ)
原油(コンデンサートを除く)	k L		0		0	0
コンデンサート	k L		0		0	0
ガソリン	k L		0		0	0
灯油	k L		0		0	0
軽油	k L	0	0		0	0
A重油	k L		0		0	0
LPG	t		0		0	0
LNG	t		0		0	0
都市ガス	千m ³		0		0	0
産業用蒸気	GJ		0		0	0
蒸気(産業用蒸気以外)	GJ		0		0	0
温水	GJ		0		0	0
冷水	GJ		0		0	0
その他(**)	-		0		0	0
その他(**)	-		0		0	0
その他(**)	-		0		0	0
その他(**)	-		0		0	0
その他(**)	-		0		0	0
その他(**)	-		0		0	0
その他(**)	-		0		0	0
小計(GJ)		—	0	—	0	0
電気事業者	昼間買電	千kWh	7,180	71,585	0	71,585
	(平準化時間買電)	千kWh	4,122	41,096		41,096
	夜間買電	千kWh	4,976	46,177		46,177
その他	上記以外の買電	千kWh	**	0		0
	**	千kWh	**	0		0
	**	千kWh	**	0		0
	自家発電	千kWh	—	—		0
小計(GJ)		—	117,762	—	0	117,762
合計(GJ)			117,762	—	0	117,762
原油換算(k L)			3,038	—	0	3,038

変更	単位 発熱量	変更	CO ₂ 排出係数	CO ₂ 排出量
	38.2		0.0686	0.00
	35.3		0.0675	0.00
	34.6		0.0671	0.00
	36.7		0.0678	0.00
	37.7		0.0686	0.00
	39.1		0.0693	0.00
	50.8		0.059	0.00
	54.6		0.0495	0.00
	45		0.0509	0.00
	1.02		0.06	0.00
	1.36		0.057	0.00
	1.36		0.057	0.00
	1.36		0.057	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	9.97		0.551	3956.18
	9.97		0.551	681.37
	9.28		0.551	2741.78
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	9.76		0	0.00
				6698.0

③前年度における温室効果ガス排出量

区分	(29)年度
エネルギーの使用によって発生する二酸化炭素の排出量	6,698 t-CO ₂
その他	
()の排出量	t-CO ₂
()の排出量	t-CO ₂
()の排出量	t-CO ₂
()の排出量	t-CO ₂
()の排出量	t-CO ₂
()の排出量	t-CO ₂
合計	6,698 t-CO ₂

4 前年度のエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量

(1) 主な事業所分

①事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地
3	NTTコム大阪浪速ビル	大阪市浪速区

②前年度におけるエネルギー使用量

エネルギーの種類	単位	(29)年度				
		エネルギー使用量(A)		販売エネルギー量(B)		(A)-(B)
		数値	熱量 (GJ)	数値	熱量 (GJ)	熱量 (GJ)
原油 (コンデンサートを除く)	k L		0		0	0
コンデンサート	k L		0		0	0
ガソリン	k L		0		0	0
灯油	k L		0		0	0
軽油	k L	3	113		0	113
A重油	k L		0		0	0
LPG	t		0		0	0
LNG	t		0		0	0
都市ガス	千m ³		0		0	0
産業用蒸気	GJ		0		0	0
蒸気 (産業用蒸気以外)	GJ		0		0	0
温水	GJ		0		0	0
冷水	GJ		0		0	0
その他 (**)	-		0		0	0
その他 (**)	-		0		0	0
その他 (**)	-		0		0	0
その他 (**)	-		0		0	0
その他 (**)	-		0		0	0
その他 (0		0	0
その他 (0		0	0
小計 (GJ)		—	113	—	0	113
電気事業者	昼間買電	千kWh	7,251	72,292	0	72,292
	(平準化時間買電)	千kWh	4,399	43,858	0	43,858
	夜間買電	千kWh	4,975	46,168	0	46,168
その他	上記以外の買電	千kWh	**	0	0	0
	**	千kWh	**	0	0	0
	**	千kWh	**	0	0	0
	自家発電	千kWh	—	—	0	0
小計 (GJ)		—	118,460	—	0	118,460
合計 (GJ)			118,574	—	0	118,574
原油換算 (k L)			3,059	—	0	3,059

変更	単位 発熱量	変更	CO ₂ 排出係数	CO ₂ 排出量
	38.2		0.0686	0.00
	35.3		0.0675	0.00
	34.6		0.0671	0.00
	36.7		0.0678	0.00
	37.7		0.0686	7.76
	39.1		0.0693	0.00
	50.8		0.059	0.00
	54.6		0.0495	0.00
	45		0.0509	0.00
	1.02		0.06	0.00
	1.36		0.057	0.00
	1.36		0.057	0.00
	1.36		0.057	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	9.97		0.536249069	3888.34
	9.97		0.537708115	709.61
	9.28		0.536427136	2668.73
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	0		0	0.00
	9.76		0	0.00
				6564.8

③前年度における温室効果ガス排出量

区分	(29)年度
エネルギーの使用によって発生する二酸化炭素の排出量	6,565 t-CO ₂
その他 () の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
() の排出量	t-CO ₂
合計	6,565 t-CO ₂

電力量入力(主な事業所)

事業所名	電気事業者		買電量(千kWh)	うち平準化時間帯 買電量(千kWh)	合計買電量 (千kWh)	単位発熱量 (GJ/千kWh)	CO2排出係数 (t-CO2/千kWh)	熱量(GJ)	うち平準化時間帯 熱量(GJ)	CO2排出量 (t-CO2)	うち平準化時間帯 CO2排出量(t-CO2)	合計CO2排出量 (t-CO2)
1	NTTコム大阪堂島第一ビル	019その他の電気事業者から供給された電気	昼間	14,569	8,483	24,422	9.97	145,253	84,576	8,028	4,674	13,457
		夜間	9,853	—	—	9.28	91,436	—	5,429	—	—	—
	004株式会社エネットから供給された電気	昼間	153	129	154	9.97	1,525	1,286	65	55	65	
		夜間	1	—	—	9.28	9	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
合計		昼間	14,722	8,612	24,576	—	—	146,778	85,862	8,092 (排出係数) 0.550	4,729 (排出係数) 0.549	13,522
		夜間	9,854	—	—	—	—	91,445	—	5,429 (排出係数) 0.551	—	(排出係数) 0.550
2	NTTコム大阪淡路ビル	019その他の電気事業者から供給された電気	昼間	7,180	4,122	12,156	9.97	71,585	41,096	3,956	2,271	6,698
		夜間	4,976	—	—	9.28	46,177	—	2,742	—	—	—
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
合計		昼間	7,180	4,122	12,156	—	—	71,585	41,096	3,956 (排出係数) 0.551	2,271 (排出係数) 0.551	6,698
		夜間	4,976	—	—	—	—	46,177	—	2,742 (排出係数) 0.551	—	(排出係数) 0.551
3	NTTコム大阪浪速ビル	001関西電力株式会社から供給された電気	昼間	3,675	2,003	6,175	9.97	36,640	19,970	1,918	1,046	3,223
		夜間	2,500	—	—	9.28	23,200	—	1,305	—	—	
	004株式会社エネットから供給された電気	昼間	3	3	3	9.97	30	30	1	1	1	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	019その他の電気事業者から供給された電気	昼間	3,573	2,393	6,048	9.97	35,623	23,858	1,969	1,319	3,332	
		夜間	2,475	—	—	9.28	22,968	—	1,364	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0		
	夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—		
合計		昼間	7,251	4,399	12,226	—	—	72,292	43,858	3,888 (排出係数) 0.536	2,365 (排出係数) 0.538	6,557
		夜間	4,975	—	—	—	—	46,168	—	2,669 (排出係数) 0.536	—	(排出係数) 0.536
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
	**	昼間	—	—	0	9.97	0	0	0	0	0	
		夜間	—	—	—	9.28	0	—	0	—	—	
合計		昼間	0	0	0	—	—	0	0	0 (排出係数) 0.000	0 (排出係数) 0.000	0
		夜間	0	—	—	—	—	0	—	0 (排出係数) 0.000	—	(排出係数) 0.000

単位発熱量、CO₂排出係数は対策指針で示した値が入力されています。独自の根拠により数値を変更するときは、直接数値を変更入力してください。なおその場合、変更欄に「レ」が入りますので、その値を採用した根拠を

(2) (1)以外の事業所分の合計
①前年度におけるエネルギー使用量

エネルギーの種類	単位	(29)年度	
		エネルギー使用量 (販売エネルギー量を減じた量)	
		数値	熱量 (GJ)
原油 (コンデンサートを除く)	k L		0
コンデンサート	k L		0
ガソリン	k L		0
灯油	k L		0
軽油	k L	4	151
A重油	k L		0
L P G	t		0
L N G	t		0
都市ガス	千m ³	109	4,905
産業用蒸気	GJ		0
蒸気 (産業用蒸気以外)	GJ		0
温水	GJ		0
冷水	GJ		0
その他 (**)	-		0
その他 (**)	-		0
その他 (**)	-		0
その他 (**)	-		0
その他 (**)	-		0
その他 (**)	-		0
その他 (**)	-		0
小計 (GJ)		—	5,056
電気事業者	昼間買電 (千kWh)	6,638	66,181
	(平準化時期買電) 千kWh	3,973	39,611
	夜間買電 (千kWh)	4,070	37,770
その他	上記以外の買電 (千kWh)		0
	** (千kWh)		0
	** (千kWh)		0
	自家発電 (千kWh)		0
小計 (GJ)		—	103,950
合計 (GJ)			109,006
原油換算 (k L)			2,812

変更	単位 発熱量	変更	CO ₂ 排出係数
	38.2		0.0686
	35.3		0.0675
	34.6		0.0671
	36.7		0.0678
	37.7		0.0686
	39.1		0.0693
	50.8		0.059
	54.6		0.0495
	45		0.0509
	1.02		0.06
	1.36		0.057
	1.36		0.057
	1.36		0.057
	0		0
	0		0
	0		0
	0		0
	0		0
	0		0
	0		0
	0		0
	9.97		0.514
	9.97		0.517
	9.28		0.520
	0		0
	0		0
	0		0
	9.76		0

CO ₂ 排出量	■その他事
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
10.34	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
249.66	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
3412.27	615.98
2116.51	
0.00	
0.00	
0.00	
0.00	
5788.8	616.00

③前年度における温室効果ガス排出量

区分		(29)年度
エネルギーの使用によって発生する二酸化炭素の排出量		5,789 t-CO ₂
その他	()の排出量	t-CO ₂
	()の排出量	t-CO ₂
	()の排出量	t-CO ₂
	()の排出量	t-CO ₂
	()の排出量	t-CO ₂
	()の排出量	t-CO ₂
合計		5,789 t-CO ₂

電力量入力(その他事業所)

電気事業者		買電量(千kWh)	うち平準化時間帯 買電量(千kWh)	合計買電量 (千kWh)	単位発熱量 (GJ/千kWh)	CO2排出係数 (t-CO2/千kWh)	熱量(GJ)	うち平準化時間帯 熱量(GJ)	CO2排出量 (t-CO2)	うち平準化時間帯 CO2排出量(t-CO2)	合計CO2排出量 (t-CO2)
019その他の電気事業者から供給された電気	昼間	1,649	965	2,543	9.97	0.551	16,441	9,621	909	532	1,401
	夜間	894	—		9.28		8,296	—	493	—	
004株式会社エネットから供給された電気	昼間	1,016	491	1,359	9.97	0.423	10,130	4,895	430	208	575
	夜間	343	—		9.28		3,183	—	145	—	
001関西電力株式会社から供給された電気	昼間	3,973	2,517	6,806	9.97	0.522	39,611	25,094	2,074	1,314	3,553
	夜間	2,833	—		9.28		26,290	—	1,479	—	
**	昼間			0	9.97	0	0	0	0	0	0
**	夜間			0	9.28	0	0	—	0	—	0
**	昼間			0	9.97	0	0	0	0	0	0
**	夜間			0	9.28	0	0	—	0	—	0
**	昼間			0	9.97	0	0	0	0	0	0
**	夜間			0	9.28	0	0	—	0	—	0
**	昼間			0	9.97	0	0	0	0	0	0
**	夜間			0	9.28	0	0	—	0	—	0
合計	昼間	6,638	3,973	10,708	—	—	66,181	39,611	3,412 (排出係数) 0.514	2,053 (排出係数) 0.517	5,529
	夜間	4,070	—		9.28	37,770	—	2,117 (排出係数) 0.520	—	0.516 (排出係数)	

3 重点対策実施率の算定と事業者評価

(1) 事業者情報

事業者名称	業種
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	37通信業

(2) 削減率と対策実施率

削減率	-10.9	%
平準化削減率	-10.9	%

実施率	評価
68.2 %	B

(3) 重点対策の実施状況 対象事業所 (集計表参照)

番号	区分	種類	項目	重点対策名	対策の実施状況	(実施予定の場合) 実施年度	予定なし、非該当を選択した場合は、その理由を記入ください。実施済み、実施予定を選択した場合は、可能であれば削減効果を簡潔に記入ください。
1	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	運用による 対策	大阪府温暖化防止条 例の届出における対 応	実施済み	現計画期間内	
2	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	機器管理台帳の整備	実施済み	現計画期間内	
3	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	エネルギー使用量の 把握、管理	実施済み	現計画期間内	
4	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	推進体制の整備	実施済み	現計画期間内	
5	平準化	必須	運用による 対策	ピークカット、ピー クシフト対策の実施	実施済み	現計画期間内	昼休み消灯、クール/ウォームビズの推進等の運用面 での対策を実施
6	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	オーナー・テナント 対策の実施	実施済み	現計画期間内	省エネ推進体制を構築し専用部や教養部における省 エネ対策を提示
7	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	ボイラーの空気比の 適正管理	非該当		対象設備無し
8	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	ボイラーの効率管理	非該当		対象設備無し
9	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	ボイラーの圧力・温 度の管理	非該当		対象設備無し
10	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	蒸気配管のバルブ等 の保温	非該当		対象設備無し
11	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	熱源設備における空気 比の適正管理	非該当		対象設備無し
12	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	熱源設備の効率管理	非該当		対象設備無し
13	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	熱源設備の冷水出口 温度管理	非該当		対象設備無し
14	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	運用による 対策	空調機の室内温度の 適正管理	実施済み	現計画期間内	クールビズ (28℃以上) /ウォームビズ (20℃以下) の取り組みにて、室温を適正管理
15	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	運用による 対策	空調機の外気導入量 の適正管理	実施済み	現計画期間内	空気環境測定結果により適切に管理

番号	区分	種類	項目	重点対策名	対策の実施状況	(実施予定の場合) 実施年度	予定なし、非該当を選択した場合は、その理由を記入ください。実施済み、実施予定を選択した場合は、可能であれば削減効果を簡潔に記入ください。
16	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	空調機のフィルターの 定期的な清掃	実施済み	現計画期間内	年2回フィルター/フィン洗浄を実施
17	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	運用による 対策	温度検出器の適正管理	実施済み	現計画期間内	機械室温度を遠隔監視し、通信負荷に合わせた適切な設定温度を管理
18	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	運用による 対策	照明の運用管理	実施予定	現計画期間内	不要箇所の消灯を徹底
19	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	ポンプの流量管理の 評価	非該当		対象設備無し
20	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	ファン、ブロワの風 量管理の評価	非該当		対象設備無し
21	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	運用による 対策	地下駐車場の換気管理	実施済み	現計画期間内	BASシステムにてスケジュール運転を実施
22	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	給湯設備の適正管理	実施済み	現計画期間内	貯湯温度を管理し、省エネ運用を徹底
23	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	運用による 対策	コージェネレーション の効率管理	非該当		対象設備無し
24	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	コンプレッサの吐出 圧の適正化	非該当		対象設備無し
25	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	コンプレッサの吸気 温度管理	非該当		対象設備無し
26	GHG排出 人工排熱	必須	運用による 対策	圧縮空気配管図の整備	非該当		対象設備無し
27	GHG排出 人工排熱	必須	自動車対策	エコドライブの励行	非該当		対象設備無し
28	GHG排出 人工排熱	必須	自動車対策	自動車の適正な維持 管理	非該当		対象設備無し
29	GHG排出 人工排熱	必須	自動車対策	自動車の燃料使用量の 把握	非該当		対象設備無し
30	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	設備導入等	高効率な照明設備の 導入	実施予定	次期計画期間内	高効率な照明設備の導入と設備一覧表等の管理を実施予定
31	GHG排出 人工排熱	必須	設備導入等	高効率な高輝度放電 ランプ等の導入	非該当		対象設備無し
32	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	設備導入等	高効率機器の導入	予定なし		予定なし
33	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	設備導入等	エネルギー管理シス テムの導入	予定なし		予定なし

番号	区分	種類	項目	重点対策名	対策の実施状況	(実施予定の場合) 実施年度	予定なし、非該当を選択した場合は、その理由を記入ください。実施済み、実施予定を選択した場合は、可能であれば削減効果を簡潔に記入ください。
34	GHG排出 人工排熱	必須	設備導入等	太陽光発電の導入	予定なし		予定なし
35	GHG排出 人工排熱	必須	設備導入等	エコカーの導入	非該当		対象設備無し
36	GHG排出	必須	経済的手法を活用した抑制対策	カーボン・オフセットの実施	予定なし		予定なし
37	GHG排出 人工排熱 平準化	必須	設備導入等	省エネ診断の実施	予定なし		予定なし
38	GHG排出	必須	その他	環境配慮製品の開発・製造	予定なし		予定なし
39	人工排熱	必須	人工排熱	ヒートアイランド対策の実施	予定なし		予定なし
40	GHG排出 人工排熱 平準化	選択	その他	計画期間外、もしくは計画期間内の温室効果ガスの大幅な削減	非該当		対象無し
41	GHG排出 人工排熱 平準化	選択	その他	事業者独自の取組み	実施済み	現計画期間内	PCの省エネ設定や4up5down運動による動力負荷低減などの省エネ対策を実施

実施数(実施予定等含む)	15
該当項目数	22